



昭和42年

款

A

項

6

目

2

節

0

件

名

本会議録綴

冊の

号

昭和

永

年

ま

で

保

存

登録番号

第

号

議会議課

(保存文書背表紙)

甲

決裁 区分	甲 乙 (内)	文書 分類	(送) 庁内・議案・令達	福議 取 第 88 号
保存	1 3 5 10 15 (永)	廃棄	年 月	F.No. A 6.2.0
取扱上 注意	(至急) 秘	添付 物	起案	42年 6月 20日
浄書区分 タイプ	本 控 計	用 紙	決裁	年 月 日
浄書 原・力		更 紙	施行	年 月 日
孔 版		中質紙	先方 文書	年 月 日
手書複写	/ / 2	上質紙	年 月 日	第 号
ペン書		タイプ紙	年 月 日	日收受
その他		その他		
浄書照 合 公 印 施 行 機・管係長	送 表示	作成	6月 20日迄	送 表示
主 起 案 者 係	完 了 表示	作成	月 日了	送 表示
氏名 市川 昭利	係 長 局 長 委員 長 副 議長 議 長			
あて先 発信者	東京都知事 美濃部 亮吉 福生町議会 議長 田 村 匡 雄	合 議	総務課長 収入 役 助 役 町 長	
注意事項	文書係長			
件 名	会議録の送付について			

42.6.23

上記のことについて 別紙のように 照会 回答 報告 依頼 申請 通知 決定 実施 してよろしいか伺います。
送付(ます)

別 紙

1. 昭和 41 年 第 4 回 定例会 12 月 15 日
2. 昭和 42 年 第 1 回 臨時会 1 月 12 日
3. 昭和 42 年 第 2 回 臨時会 2 月 16 日
4. 昭和 42 年 第 1 回 定例会 3 月 10 日 ~ 24 日
5. 昭和 42 年 第 3 回 臨時会 5 月 8 日

福生町議発第~~十八~~二号

昭和四十二年六月二十三日

東京都知事

美濃部亮吉殿

福生町議会議長

田村匡雄



会議録の送付について

昭和四十二年第一回福生町議会臨時会の会議録の写を別紙のとおり作製いたしましたので、地方自治法第一二三条第三項の規定により送付いたします。



昭和四十二年
第一回臨時會

(自一月十二日
至一月一日)

福生町議會議錄

第一
號

第一回臨時

福生町議會議錄



第一回厚生町議会議臨時 会合録 (第一号)

昭和四十五年一月十二日 厚生町議会議場に第一回厚生町議会議臨時 会合招来さ

れた。

出席議員は次のとおりである。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 一番 塩野鉄太郎 君 | 二番 村野 弘 君 | 三番 延本益夫 君 |
| 四番 中村国太郎 君 | 五番 大沼 秀 伍 君 | 六番 田村匡雄 君 |
| 七番 杉本有雄 君 | 八番 岸 茂 君 | 九番 大野行夫 君 |
| 十番 高橋千春 君 | 十一番 君 | 十二番 大久保一 君 |
| 十三番 細刺晋一 君 | 十四番 高崎豊吉 君 | 十五番 川辺忠蔵 君 |
| 十六番 岩田 博 君 | 十七番 小堺仁 七 君 | 十八番 加藤清一 君 |
| 十九番 林 幸男 君 | 二十番 斎藤 博 君 | 二十一番 石川信義 君 |
| 二十二番 中西房蔵 君 | 二十三番 君 | 二十四番 君 |

欠席議員は次のとおりである。

土番 堀川実君

欠員は次のとおりである。

二十三番 二十四番

一 議事事務局職員は次のとおりである。

議事事務局員 長 島田

係長 野崎

主事 市川昭利君

一 地方自治法第二百一十一条の規定による出席説明員は次のとおりである。

町 長 石川常太郎君

助 役 森田幸造君

収入役 秋山誠一君

教育長 保崎俊夫君

調査室 主事 大野忠一君

調査室 主事 貴井喜代次君

調査室 主事 橋本孝蔵君

調査室 主事 田村忠雄君

総務課 長 町田倍二君

税務課 長 務古徳男君

住民課 長 乙才栄吉君

民生課 長 木村田 武君

産業課 長 上野重勝君

土木課 長 兼都市計 本林田 猛君

水道課 長 道生子国利君

教育課 長 高水 永君

一 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第一 会議録署名議員の署名

日程第二 会期の決定

日程第三 議案第一号 昭和四十五年度福生町一般会計補正予算(第三号)

日程第四 議案第二号 昭和四十五年度福生町一般会計補正予算(第四号)

日程第五 議案第三号 昭和四十五年度福生町と商場特別会計予算(第二号)

日程第六 陳情第一号 学校区手当増額に関する陳情書

日程第七 陳情第二号 学校歯科医報酬増額に関する要望書

午後九時十分閉議

議長(中西虎蔵君) 皆さん新年明けましておめでとうと云う感じがします。

本年もよろしくご協力のほどをお願いいたします。

本日より臨時会の通知を申しあげましたところ、多数の出席をいふに及ぶし、ことを厚くお礼申しあげます。

本日より昭和四十五年第一回福生町議会臨時会を開会

いたします。

出席議員は現在二十名であります。よう、今日の会議は成立いたしました。にばうに今日の会議を開きます。日程に入るを以て町長からご挨拶をお願いします。

(町長 石川常太郎君登壇)

(町長 石川常太郎君) お話しをいたしましてご挨拶をお願いします。

新年早々本日昭和四十二年第一回臨時会に際しまして議員各位にはほとんど全員の出席をいたしまして又お寒いところ早朝よりお集りにいただき大変ありがとうございます。

年が改にまりまして議員各位にはよろしくご多幸の新年を迎えられまして誠に慶賀のいたしてございします。

さて昨年は地財法下の厳しい年でございした。か地財法

に対する議員各位の深いご理解のもとに法の精神を十分遵守されると同時に法の利点を十分利用活用していただくとし、西多度郡の玄関にふさわしい順調な発展を見て参つたわけでございます。

建設面で申しますと、加美平、武蔵野台西區画整理、各学校排水路、水道関係と場関係、道路関係等はほとんどの事業に着手ができました。殊に區画整理に力をつけては武蔵野台の工場地域はほとんど分譲が終了しまして誠によろこばしい限りでございます。加美平に力をつけても住宅供給公社に力ける住宅はほとんど完成を見、想像以上の応募者があつた。さうございします。青梅線西側地区に力をつけても既に測量が終了いたしました。

にばうに諸手続を進行中でございします。又基地外排水路も完成いたしました。以上のような状態でございます。

多少やむを得ない工事の遅れも出ておりますが大体予定と
おりの進捗を上げておるわけでございます。

赤字の解消もためて良い成績でございます。

台風二十六号の天災等もございませんが明るい話題も数多く
ございます。積足とは申せませんが客観的にみましてはま
す成果のある活発な年であつたと考えております。

三月三十一日の世帯数は九千百六十八人口三万一千九百五十九人で
ございます。以上申し上げましたとおり斯くくたる実績を
上げ得ましたことは、誠に議員各位の協力と指導の賜もの
でございます。事を訂する人にあるということをしつと証明
した年でございまして、あらためて表よりお礼申しあげます。
でございます。

本年も根本的な考え方にありましては昨年度と少しも相違は

ございません。行政の根本は町民福祉の向上にあるという簡単な
言葉の基盤に立ちまして、純粋な気持ちと純粋な主張をもち
まして仕事を遂行するつもりでございます。ただし、財法
下でございするので計画外の仕事は早急に立案着手とい
うことは不可能でございます。しかしながら、たとえ財法下で
なくてもローマは一日にしてならずの例えのとおり、根本的な町
造りのためには正確なる計画と長期の準備期間が必要でござ
います。私はこれから申し上げておるとありてでございます。

行政水準の低下は許されませんが一定の水準を保っている限り、
間に合々の事業の投資はすべてではないと考えております。
真の町民福祉は根本的な基礎造りからいいますと堅く信じて
おります。まして今後は文化、科学の発展は極めて著るしく、
行政水準は係数的に文化、科学の発展と同一の歩調で発展



して参ると考へてあります。従ひましてわがわがの想像
以上に遙かに上回る発展をみると考へてあります。
現在を担當する者といふとしてよほど当面を越えまして
遠い未来に思いを走せ。未来の町民の幸福を考へなければ
将来にあらずして取りかえしのつかない事態になると想像
されるのであります。

たゞ申しあげましたように事業というものは相当長期間の
準備を必要といふします。

よほど努力いたしまして五年あるいは、長きは十年という
準備期間を要するものであります。現在考慮をしてある
あるいは運動をしてあります事業で、上級官庁と接衝す
べきもの、あるいは他町村と談合すべきものすなわち町自体で
ない仕事でございすか、これらにあらずする対象といふ



しましては福生駅東口開発又は東口の拡張、田の開発、公共下
水路、熊川の多産川の崖、高校の昇格、処理場等ござい
す。このうち急な解決を要するものは処理場をございす。
現段階にあらずしては次回を話し申しあげた程度でござい
まして顕著なる進展はございせんが慎重な態度をもつ
て善処するよう万遺憾なくを期してあります。

町単独で行います事業にあらずしては教育、排水路、道
路等精根を傾けていたしますことは当然でございす。
なお熊川地区の小学校新設にあらずしては田の開発の關係上
一年先に送る考へでございす。従ひまして必然的に小学
校の創設は既に一年つつ先に送りたいと考へてあります。
本年は国にあらずしては暫定予算でございす。その他、
公債の発行、輸入増等の見込み等、財政的には樂觀を許さな